

お盆出荷を目指した8月咲き小ギクの効率的電照方法

福島県農業試験場 いわき支場
平成16~17年度福島県農業試験場試験成績概要
分類コード 05-08-18000000

部門名 花き一キク一作型・栽培型
担当者 矢吹隆夫・諏訪理恵子

I 新技術の解説

1 要旨

本県の小ギク生産は、夏秋期の8~9月に出荷が集中しており、特に8月出しは作付け規模が大きく、お盆の需要期に出荷することが重要となっている。このため、産地では電照を導入し出荷期を調整しているが、電照効果が不十分であるため開花時期がお盆に合わないことが多い。

このことから、小ギクの8月咲き主要品種について開花調節によるお盆出荷を目指した効率的な電照方法を明らかにした。

- (1) 小ギクの8月咲き品種に対しては、0時~3時の電照が有効であり開花抑制効果が高い(表1、図1)。
- (2) 0時~3時の電照により切り花始期から終期までの開花幅が短くなる(表1)。
- (3) 0時~3時の電照により切り花長が増加し、出荷規格が向上する(表1)。

2 期待される効果

- (1) 8月咲き小ギクの主要品種に対する効率的な電照方法が明らかになり、開花調節が容易となる。
- (2) お盆出荷を目指す場合は、各主要品種について到花日数から逆算して電照を終了すると適期出荷が可能となる。

3 適用範囲

電照設備の導入が可能な地域。

4 普及上の留意点

各品種ごとに到花日数には違いがあるので電照の終了時期には注意すること。

II 具体的データ等

8月咲き小ギクの栽培略図

作 型	3月	4月	5月	6月	7月	8月
8月出し作 型	電照終了から切り花まで50～55日程度 ☆ -----★ ▽ ———◎ —×井 —————□					

▽：挿し芽 ◎：定植 ×：摘心 井：ネット張り □：収穫期間

☆：電照開始 ★：電照終了

表1 8月咲き小ギク主要品種に対する電照時間帯の違いと開花時期及び生育(2005年)

品種	花色	電照時間帯	切り花①			開花 幅② (日)	初花 日数③ (日)	開花抑制 日数④ (日)	切り花 長 (cm)
			始期 (月/日)	盛期 (月/日)	終期 (月/日)				
小鳩	白	21時～0時	7/28	8/5	8/11	14	42	0	75
		0時～3時	8/11	8/17	8/17	6	54	12	100
		無電照	7/28	8/5	8/11	14	—	—	71
むつみ	黄	21時～0時	7/28	8/5	8/5	8	42	8	66
		0時～3時	8/11	8/11	8/17	6	48	14	91
		無電照	7/28	7/28	8/5	8	—	—	49
赤魚	赤	21時～0時	8/5	8/5	8/17	12	42	0	84
		0時～3時	8/11	8/17	8/17	6	54	12	97
		無電照	8/5	8/5	8/11	6	—	—	66
はなぶさ	赤	21時～0時	8/11	8/11	8/17	6	48	6	84
		0時～3時	8/11	8/11	8/11	0	48	6	85
		無電照	7/28	8/5	8/11	14	—	—	58

※電照終了時期 6月24日

※切り花調査時期は2～3輪開花時

1)切り花：始期(10%切り花時)、盛期(50%切り花時)、終期(90%切り花時)

2)開花幅：切り花始期から終期までの日数

3)初花日数：電照終了から切り花盛期までの日数

4)開花抑制日数：無電照と比べた切り花盛期の日数の差

※0時～3時は、この時期の日没後6～9時間の時間帯に設定した。

0時～3時の電照で開花幅が短くなり、切り花長が増加する。

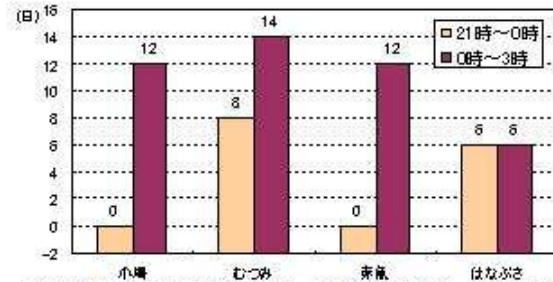


図1 電照時間帯の違いと無電照と比べた場合の開花抑制日数(2005年)

0時～3時の電照が有効で開花抑制効果が高い。

Ⅲ その他

1 執筆者

矢吹隆夫、諏訪理恵子

2 主な参考文献・資料

なし